あらゆるニーズにお応えする総合印刷企業。
株式会社 ナガノ
●凸版、オフセット、シルクスクリーン、シール、ラベル印刷機による感圧性接着紙及び一般紙の印刷加工。
●ノベルティ、プレミアムなどのプラスチックスによる製造加工。
tel. 03・3861・1391 代表 03・3851・4734
http://www.nagano-printing.co.jp/

NO. 1011
平成23年（2011年） 9月 1日（木）
1・15日発行
発行所 ラベル新聞社
東京都千代田区東神田３－１－13
神田浅草橋ビル 〒101-0031
電話（03）3866-6577 FAX（03）3866-0105
http://www.labelshimbun.com
編集・発行人 田副 徹
年間購読料15,750円 1部 660円

ラベル新聞

THE LABEL SHIMBUN
©ラベル新聞社2011
【昭和44年9月30日第三種郵便物認可】

Hologram -ホログラムフィルム-
Lenticular -レンチキュラー-
COBURN JAPAN CORPRATION
日本コーバン（株）
東京 TEL（03）3553-5721
大阪 TEL（06）6311-5214
URL:http:// coburn.jp /

三起機械

「のり面印刷ユニット」を小型化

「BABY」にインライン接続

三起機械㈱（東大阪市高井田中、三木宏昭社長、☎06・6787・0161）はこのほど、小型凸版間欠機用「インラインのり面・裏面印刷兼用ユニット」を開発。「BABY－200」に搭載して販売する。同社では08年から、凸版間欠機によるのり面印刷の技術開発に取り組み、09年には「SMP－300」に搭載して高評価を得ていた。今回、ユニット搭載が可能になった「BABY－200」は昨年発売されたもので、精度の高い印刷が特徴。同機で「のり面印刷をしたい」というラベル印刷会社からの要望が強く、小型ユニットの発売が期待されていた。

製品化されたのは「BABY－200」用のインラインのり面・裏面印刷兼用ユニット。間欠送りの動きに完全に対応し、印刷速度を落とすことなく、インラインでのり面、裏面（剥離紙）への印刷を実現した。

ラベル業界では近年、POPラベルなど、部分粘着製品の受注が多く、加工に必要な大型の輪転機を持たない中小のラベル印刷会社からも「のり面印刷を内製化したい」という要求があった。新製品はこれに応えたもので、比較的安価な小型の凸版間欠機で、付加価値の高い加工を可能にすることが最大の魅力となっている。

のり面印刷は一般的に、剥離紙と粘着紙を分離させてから加工し、再び貼り合わせるという工程を経る。このため、紙を往復させる間欠送りの動きにユニットを連動させた場合、再び貼り合わせた剥離紙とのズレやシワなどの問題が発生することから、実現は困難とされてきた。

また、のりごろしはフィルムへ加工する場合が多いが、間欠送りではテンションコントロールが難しく、再度貼り合わせた際、不具合が出ることがあった。この問題も同社独自のテンションコントロールで解決し、09年には技術を完成。同年、スタンダード機である「SMP－300」に搭載し発売した。ユニットを搭載した仕様は非常に好評で、開発後の販売品は、ほとんどが搭載タイプという。

小型間欠機でのり面印刷を可能にした「BABY-200」

一方、同社では09年4月に小型の凸版間欠機「BABY－170」を開発。ユーザーの要望で昨年3月には紙幅を200㍉に広げた「同200」を発売した。同機が発売されたことで、小型間欠機用の、のり面・裏面印刷兼用ユニットの発売を望む声が高まり、同社では昨年から小型化に着手。このほど完成した。

性能面では、SMP－300用の毎分最大200ショットの性能はそのままに機体を小型化。のりごろしでは、UVニスを印刷し乾燥する方式を採用した。

同社の担当者は「のり面印刷ユニットは従来、輪転機用の高価な装置のイメージがあった。しかし、近年は小ロット化が進み。輪転機を使用しては、コストが合わないという声が多かった」と開発の理由を述べる。

同社には、すでにこれらの企業から導入の希望があり、数台を受注。この動向を踏まえ、ラベル業界に向け、積極的な販売を進める。

なお、同製品は9月16日㈮から江東区有明の東京ビッグサイトで開催される「IGAS2011」で展示される。

粘着紙メーカー会 2011年上期出荷統計

微増の4.1億㎡

震災の影響で後半は減少

印刷用粘着紙メーカー会（大内昭彦会長）はこのほど、会員企業8社による2011年上期（1～6月）印刷用粘着紙の出荷統計（国内）を発表。紙系ならびにフィルム系粘着紙の合計は、前年比1%増の4億1511万平方㍍となった。

発表によると、紙系粘着紙は3億2842万平方㍍（前年比101%）、フィルム系粘着紙は8669万平方㍍（同100%）。

前年下期からの景気回復傾向が継続し、1～3月は堅調に推移。特に紙系は1月が、フィルム系は2月がそれぞれ前年を5%上回るなど明るい兆しを見せた。しかし、3月11日に発生した東日本大震災が4～6月に大きく影響し、紙系は6月が同4%減、フィルム系は4月と6月がそれぞれ同3%減となるなど、厳しい状況へと移行した。メーカー会関係者は「震災によって物流・流通がダメージを受け、紙系が停滞。フィルム系に至っては、東日本地域の自動車や精密機器など、工業分野が生産ラインを停止させるなどの影響をダイレクトに受ける結果となった」と話す。

なお下期の予測としては、上期に引き続き、紙系、フィルム系の双方において震災の影響を引きずると見られており、震災からの復興による需要は、来年以降との見方が強まっている。

2011年上期（1～6月）印刷用粘着紙出荷統計

	紙製品		フィルム製品		合計	
	数量	前年比(%)	数量	前年比(%)	数量	前年比(%)
1月	4,966	105	1,317	100	6,283	104
2月	5,050	99	1,417	105	6,467	101
3月	6,018	104	1,577	100	7,595	103
4月	6,108	101	1,492	97	7,600	100
5月	5,232	101	1,376	101	6,608	101
6月	5,468	96	1,490	97	6,958	96
合計	32,842	101	8,669	100	41,511	101

単位：万㎡

機志

デジタル印刷機を発売

汎用性高く活用に期待

㈱志機（大阪市中央区玉造、山崎真一社長）は、昨年から開発中であったインクジェット（IJ）デジタル印刷機「ピコジェット」をこのほど完成させ、9月から販売を開始する。同社は昨年、ピコジェットのプロトタイプ機を発表。乾燥システムや制御ソフト、搬送部分などを強化したほか、新たな機能も盛り込み今回の発売へと至った。

印刷速度は、毎分5㍍から任意の速度に調整でき、最大50㍍までの高速印刷に対応。通紙幅は、プロトタイプの2倍以上の240㍉幅となり、IJヘッドを2列に並べ最大220㍉幅で4色印刷を行う。最大600×600dpiの印刷解像度を実現し、専用インクの性能も向上させた。

乾燥システムにはLED－UVを使った「ピンキュア」を採用。IJヘッドに1基のLEDシステムを配置して、1色ごとに完全乾燥させるため、インクの混じりもなく高品質印刷を実現。また、従来のUV乾燥と比較して、基材への熱の影響が少ないことから、シュリンクラベルなどのテストでも、良い結果を出しているという。

独自開発の制御ソフトには、印刷機メーカーである同社のノウハウを取り入れた。機体上のボタンを極力減らし、操作はパソコンに集約。ソフトの主な機能では、抜き、カス上げ後のラベルに対応する「追い刷り機能」、2次元コードやバーコード印字、ナンバリングなどが可能な「可変情報印字」のほか、コスト管理に役立つ「インク消費量表示機能」などがある。

このほか、コロナ処理機能などをオプションで用意。同社の検品機やスリッターなどをインライン化することも可能で、多様なニーズに応える。

本体サイズは1700㈱×1250㈼×1000㈹㍉、重量は680㌔㌘。

同社の担当者は「ラベル印刷機メーカーでは初のデジタル印刷機だが、当社従来機との互換性もあり、ラベル印刷に貢献できる」と新製品への期待を語った。

問い合せは同社営業部（☎06・6767・1133）まで。

IJデジタル印刷機「ピコジェット」

ハイ・アングル

東日本大震災で、甚大な被害を受けた宮城、岩手、福島の3県。しかし、沿岸から少し車を走らせれば、以前とまったく変わらない自然豊かな風景が広がる。その一方で、沿岸部は依然、復興に向けてまい進している最中だ。家の基礎だけが広がる地域や、アスファルトが剥がれた道、港に残された大型漁船など、これからの所はまだまだ多い。盛夏には、はえやにおいとの戦いもあった。そこには、いまだ、人の目には見えない境界線がくっきりと引かれているかのようだ▼「とどまればあたりにふゆる蜻蛉（トンボ）かな（中村汀女）」。日本の米どころ、東北の地が一面金色となり、その周りを赤とんぼが飛び交う季節を迎えようとしている。気が付けば、季節は、五感を通して最も豊かな気持ちになれる実りの秋だ。しかし、米について例年と大きく違うのは、放射性物質汚染がないか、北海道を除く静岡以北の米が検査承認されなければ出荷できないこと▼大地震による大津波と原発事故は、東北を中心に日本全体へ、この先数十年という長きにわたり、復興を目指して生きていかなければならない状況をもたらした。短期的に実現できる復興もあれば数十年、いやもっと長い歳月を要する復興もある。そんな日本のマーケットを、海外の人々はどう見ているのだろうか▼「震災からは、驚異的なスピードで復興しているので、その不安感はあまりないが、それよりも市場の縮小が気になる」とは、勢い著しいアジアマーケットで活躍するラベル業界人。日本だけでなく、先進国の市場全体が行き詰まり、注目はどうしても東南アジアや南米、中東になる。そのため、先進国のラベル印刷会社では、生き残りをかけた同盟作りのため、M&Aが進む。「スケールメリット」から得られるものは少なくない。個々の取り組みに加え、今後はさらに〝横の連携〟がキーワードになる。

紙面から【IGAS特集】

凸版輪転機を新開発
［岩崎鉄工］ 2
新技術ウォッチング
「クラボウ」「T&K TOKA」 2
上司の気概
［連載寄稿④・渡邉祐子氏］ 3
インタビュー
「高桑美術印刷」 5
IGAS出展ハイライト 6～15
ブランドオーナー探訪⑩
「プリマハム」 16

ラベル新ビジネス

刺しゅうの美しさシールに

㈱ミノダ 箕田順一社長

「刺しゅうって本当に美しいでしょ」。そう語るのは、㈱ミノダ（東京都千代田区岩本町）の箕田順一社長だ。同社は、刺しゅうやワッペンなどを製造、加工、販売する老舗メーカー。この1年間で、キャラクター系刺しゅうシールのアイテムを大幅に増やし、売り上げの柱となりつつある。箕田社長の挑戦により、生まれ変わりつつある同社の戦略を探った。

◇

同社は1964年の創業以来、企業の制服やスポーツチームのユニホーム向けにロゴ、社名、氏名などを刺しゅうにして提供。取引先は大手企業や官公庁などが多く、その技術力には定評がある。

ファンシー系シールは、刺しゅうデコシール「Touch of Style」の名称で販売しており、ターゲットは主に若い女性。用途は携帯電話や手帳などの装飾としてだ。

同社が手がける「刺しゅうシール」

キャラクター系刺しゅうシール開発のきっかけは、箕田社長がインターネットで発見したアマチュアの商品。「うちが作ればもっといいものができる」との思いから着手した。

2番目のきっかけは、大手雑貨店からの発注だった。始めたばかりのシールのネット販売で、10万枚の特注があった。単価は安かったが、あえて仕事を引き受けた。その理由は「雑貨業界という新しい分野を体験できること」（箕田社長）。実際にそこで得た経験が次の飛躍につながる。

これらの知見を踏まえて挑んだのが、有名キャラクターを使ったシールの商品化。当然、版権が絡むためライセンス所有者からの許可が必要だ。同社の一つ目の目標はディズニーだった。

ディズニー関連の商品は品質が厳しいことで知られており、ほかに実績が少ない商品で挑むのはかなりハードルが高い。しかし、箕田社長は「意識的に自分の設定した本丸から攻めてみた。品質には自信があったので、ディズニーで企画が通れば、ほかのライセンス獲得が楽になると考えた」と振り返る。実際、ディズニー関連の商品を作るだけで、ライセンサーの印象は大きく変わる。

目論見どおり、その後約1年間でポケットモンスターやワンピースなど人気キャラクターを持つ14社と契約を交わした。

もちろん、その根底には長年培った技術力がある。「刺しゅうって本当に美しいでしょ」という冒頭の言葉は、その技術力の裏付けによるものだ。さらにそれを生かすため、社内にデザインチームも置いた。

このほか、同社が新事業として取り組んでいるのは、ネットで受注する個人向けの名入れや、RFID付きの刺しゅうワッペンなど。こちらも将来は事業の柱にするつもりだ。

箕田社長は「刺しゅう業界は優秀な加工技術を持つ会社が多いが、受注産業で積極的な営業を得意とする会社は少ない」と業界の現状を分析。自社については「新たな分野に挑戦することで、受注産業から脱皮し、会社を生まれ変わらせたい」と展望を語る。

（中村）

フナミズ刃型製版 検索
PREPRESS FOR SEAL
㈱フナミズ刃型製版
URL http://www.hagata.co.jp

オンデマンドプリントと製版の事ならクボタプロセスにお任せ下さい
亜鉛版は継続して製造致します！是非ご用命下さい
多品種・小ロットラベルや可変情報ラベルの作製から製版・抜型の作製まで幅広い分野でお客様のニーズにお応えいたします。詳しくはお問い合せください。
有限会社 クボタプロセス
〒111-0054 東京都台東区鳥越1-28-1
TEL 03-3851-7082 FAX 03-3851-7083
E-mail print@kubota-p.co.jp
Website http://www.kubota-p.co.jp/

SCREEN nilpeter ...your printing partner
価格競争に巻き込まれない
…みんなとは違う印刷機だから
コストダウンだけを追わない
…その先には何もないから
これが噂の印刷機
“ニールピーター”
ご興味をお持ちになられたら下記までお問い合わせ下さい。
（ヒント：高付加価値印刷／差別化のソリューションです。）
株式会社 メディアテクノロジー ジャパン
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル
http://www.mtjn.co.jp/
Nilpeter営業統轄部／03（3237）3177
大日本スクリーン製造株式会社
メディア＆プレシジョンテクノロジーカンパニー
〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目
http://www.screen.co.jp/

ナローウェブ印刷機の最高峰！
ニールピーター FA-LINE
最新のサーボテクノロジーが可能にしたコンビネーション印刷！
フレキソ印刷だけでなく、オフセット、ロータリースクリーン、グラビア、そしてデジタル印刷を融合！
ホットスタンプ、ラミネートはもちろん、コールドフォイルもインラインで付加価値の創造を！
最小限の材料ロス・省力化へ貢献、環境に優しい印刷を実現します。
版胴、アニロックスはスリーブ方式。工具不要で容易に交換が可能！
■ 高品質と高い機動性を支えるパートナー
CTP
4800dpi 標準
高い品質と作業効率の良さで好評のFX870がパワーアップ。さらなる高速化と4800dpiの高解像度出力により、フレキソ印刷・樹脂凸版印刷の高品質化を促進。ドライフィルムにも標準対応しているほか、オフセット版出力もオプションで可能。コンビネーション印刷に柔軟に対応します。
PlateRite FX870 II
大日本スクリーン製造株式会社
スリーブ
先進性・高精度を誇る伊・ROSSINI社のスリーブは、フレキソ版胴用だけでなく、コーティングやグラビア圧胴など様々な用途に使用されています。アダプター方式のキャリアシステムは、長いリピートでの軽量化を実現、パテントを取得しました。
ROSSINI
伊・ロッシーニ社
アニロックス
優れたコーティング技術と表面強化による高耐久性が特徴の独・ZECHER社のアニロックスを採用。様々な形状、線数、セル容積のアニロックスにより高品質なフレキソ印刷を実現します。ワイドウェブのアニロックスロールもご提供可能です。
ZECHER Innovative Anilox Roller Technology
独・ツェッヒャー社
ダイカットシリンダー
米・ROTOMETRICS社製ダイカット用製品は、高度な技術力と開発力に裏付けされた高い品質と耐久性が特徴です。スプロケットパンチ、ホットスタンプやエンボス対応など、お客様のご希望・用途に合わせた各種製品もご提供致します。
ROTOMETRICS.
米・ロトメトリックス社